

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

経営情報系棟502

【授業目的及び達成目標】

中級前半レベルの日本語の総合的な運用能力の養成を行う。
留学生は、専門とする分野を研究する上で、様々な物事を説明する能力が求められる。この授業では、具体的な出来事や抽象的な概念を論理的に説明する能力の養成をはかる。

【授業キーワード】

記述説明能力、口頭発表能力

【授業内容及び授業方法】

科学技術を扱った5分以下のニュース番組やテレビ番組を録画したビデオを視聴する。
視聴したビデオの内容に関して、ペアまたはグループで説明し合う。説明するのに必要な言葉や表現に関しては、受講生にその場で質問してもらい、教官がそれに答える。次に受講生全員を前にしてペアまたはグループの代表が一人で口頭発表を行う。
口頭発表後、その場で語彙、文法、発音に関して教官がチェックし、よりよい表現方法を説明する。
まとめとして、視聴したビデオの内容を書いて提出する。提出した文書は添削して返却する。

【授業項目】

- ・文型・文法練習
- ・語彙練習
- ・文と文の接続に関する練習
- ・段落展に関する練習
- ・音変化に関する説明と発音練習

【教科書】

なし

【参考書】

なし

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席点
2. 課題の提出点

【留意事項】

初級の(上)以上の言語運用能力を有する者が望ましい。

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

経営情報系棟502

【授業目的及び達成目標】

中級後半レベルの日本語の総合的な運用能力の養成を行う。
留学生は、専門とする分野を研究する上で、様々な物事を説明する能力が求められている。この授業では、具体的な出来事や抽象的な概念を論理的に説明する能力の養成をはかる。

【授業キーワード】

記述説明能力、口頭発表能力

【授業内容及び授業方法】

日本語I-Iと同じ。

【授業項目】

日本語I-Iと同じ。

【教科書】

なし

【参考書】

なし

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席点 2. 課題の提出点

【留意事項】

中級の(下)以上の言語運用能力を有する者が望ましい。

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

経営情報系棟502

【授業目的及び達成目標】

中級(中)のレベルの学習者を対象に、目的とする行動を適切な日本語で達成できるようになることを達成目標とする。

【授業キーワード】

日常会話、言語行動、発表能力

【授業内容及び授業方法】

- ・語彙練習
- ・文法説明
- ・ロールプレイ、ディスカッション等による口頭練習

【授業項目】

「人とつきあう」、「比較する」、「苦情を言う・謝る」、「ほめる・けんそんする」、「仕事について話す」、「たとえる」、「相談する・提案する」、「計画を立てる」、「意見を述べる」、「環境を考える」

【教科書】

「新日本語の中級」スリーエーネットワーク

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席点
2. 発表課題点

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

経営情報系棟502

【授業目的及び達成目標】

初級(上)から中級(下)のレベルの学習者を対象に、目的とする行動を適切な日本語で達成できるようになることを達成目標とする。

【授業キーワード】

日常会話、言語行動、発表能力

【授業内容及び授業方法】

- ・語彙練習
- ・文法説明
- ・ロールプレイ、ディスカッション等による口頭練習

【授業項目】

「たずねる・たしかめる」、「電話でれんらくする」、「たのむ」、「きよかをもらう」、「さそう・ことわる」、「ほうもんする・しょうかいする」、「しょうじょうをつたえる」、「買い物をする」、「道をたずねる」、「てじゅんをせつめいする」

【教科書】

「新日本語の中級」スリーエーネットワーク

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席点
2. 発表課題点

【担当教員】

永野 建二郎

【授業目的及び達成目標】

大学の講義を聴いてノートを取ることができる日本語能力の習得をめざす。

【授業内容及び授業方法】

基本的な聴解のポイントの解説、聴解技術の習得訓練、そして実践的な場面を用いての練習を行う。

【授業項目】

実際の発話における縮約形、音変化(母音脱落等)、言い回し、音調などの正確な聴解力を身につける。

【教科書】

プリント

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席 2. 課題提出

【留意事項】

最初の授業に録音用カセットテープ(60分)を持参すること。
受講者の構成によっては、内容を一部変更する場合がある。

【担当教員】

永野 建二郎

【授業目的及び達成目標】

大学の講義を聴いてノートを取ることができる日本語能力の習得をめざす。

【授業内容及び授業方法】

日本語III-Iと同じ。

【授業項目】

日本語III-Iの継続。

【教科書】

プリント

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席 2. 課題提出

【留意事項】

最初の授業に録音用カセットテープ(60分)を持参すること。
受講者の構成によっては、内容を一部変更する場合がある。

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

経営情報系棟502

【授業目的及び達成目標】

日本語の話し言葉は音の変化が激しいため、聞き取りに困難をきたす場合がある。また、日常生活においては、日々の生活に関して具体的に人に説明しなければならない場面が多い。
この授業では、日常会話レベルの内容について話す能力と聞く能力の養成を目的にテレビドラマを用いて授業を行う。

【授業キーワード】

テレビドラマ、日常会話、話技能、聴技能

【授業内容及び授業方法】

ドラマを場面ごとに視聴し、その内容に関してペアまたはグループごとに話し合う。内容を説明するのに必要な言葉や表現に関しては、受講生にその場で質問してもらい、教官がそれに答える。
その後、受講生全員を前にしてペアまたはグループの代表が一人で視聴した場面の説明を行う。
説明後、その場で発表者の語彙、文法、発音に関して教官がチェックし、よりよい表現方法を説明する。もう一度視聴し直し、語句、文法、音変化に関して説明をする。
最後に、視聴した場面のあらすじを書いて提出してもらい、添削後返却する。

【授業項目】

文型・文法、語彙、音変化

【教科書】

なし

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席点 2. 課題の提出点

【留意事項】

中級レベルの日本語能力の学習者を対象とする。

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

経営情報系棟502

【授業目的及び達成目標】

1学期に引き続き、日常会話レベルの内容について話す能力と聞く能力の養成を目的にテレビドラマを用いて授業を行う。

【授業キーワード】

テレビドラマ、日常会話、話技能、聴技能

【授業内容及び授業方法】

日本語IV-Iと同じ。

【授業項目】

日本語IV-Iと同じ。

【教科書】

なし

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席点 2. 課題の提出点

【留意事項】

中級レベルの日本語能力の学習者を対象にする。

【担当教員】

永野 建二郎

【授業目的及び達成目標】

レポート、論文作成にあたって必要とされる「書く」能力を養成する。

【授業内容及び授業方法】

文章の基本構成に関わる事項や定型表現を学び、それを使って実際に作文を書く。

【授業項目】

「比較」「類似」「原因」「理由」「提示」「定義」等の基本的表現文型、定型表現を学び、文章作成能力を養う。
論文の構成を学び、実際に課題文を書く。

【教科書】

授業中に指示する。そのほか補助プリントを使用する。

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席 2. 課題

【留意事項】

受講者の構成によっては、内容を一部変更する場合がある。

【担当教員】

永野 建二郎

【授業目的及び達成目標】

レポート、論文作成にあたって必要とされる「書く」能力を養成する。

【授業内容及び授業方法】

日本語V-Iと同じ。

【授業項目】

日本語V-Iの継続

【教科書】

授業中に指示する。そのほか補助プリントを使用する。

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席 2. 課題

【留意事項】

受講者の構成によっては、内容を一部変更する場合がある。

【担当教員】

永野 建二郎

【授業目的及び達成目標】

中級レベルの聞き取り練習、発音練習を行う。

【授業内容及び授業方法】

基本的な聴解のポイントの解説、聴解技術の習得訓練、そして実践的な場面を用いての練習を行う。

【授業項目】

実際の発話における縮約形、音変化(母音脱落等)、言い回し、音調などの正確な聴解力を身につける。

【教科書】

授業中に指示する。そのほか補助プリントを使用する。

【留意事項】

受講者の構成によっては、内容を一部変更する場合がある。

【担当教員】

永野 建二郎

【授業目的及び達成目標】

中級レベルの聞き取り練習、発音練習を行う。

【授業内容及び授業方法】

日本語IV-Iと同じ。

【授業項目】

日本語IV-Iの継続

【教科書】

授業中に指示する。そのほか補助プリントを使用する。

【留意事項】

受講者の構成によっては、内容を一部変更する場合がある。

【担当教員】

永野 建二郎

【授業目的及び達成目標】

日本人の文化と伝統、現代社会について学習し、日本・日本人についての理解を深める。

【授業内容及び授業方法】

ビデオ(日本語による)を視聴し、日本の文化と伝統、現代社会について議論する。各自にテーマを与え、授業で発表する。課題提出あり。日本人学生の参加も歓迎する。

【授業項目】

日本の伝統芸能、冠婚葬祭、年中行事、習慣とマナー、現代社会、文学ほか。

【教科書】

ビデオ教材を使用する。

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席 2. 課題提出

【留意事項】

受講者の構成によっては、内容を一部変更する場合がある。

日本事情I-II
General Affairs of Japan 1-2

講義 2単位 2学期

【担当教員】

永野 建二郎

【授業目的及び達成目標】

日本の時事問題について理解し、議論する。

【授業内容及び授業方法】

ビデオ、新聞、インターネットホームページ、その他の資料によって理解を深め、問題を掘り下げて議論する。レポート提出あり。日本人学生の参加も歓迎する。

【授業項目】

金融関連の事件、薬害エイズ問題、選挙と日本の政党、日本における差別(同和問題ほか)ほか。

【教科書】

授業中に指定する。そのほか補助プリントを使用する。

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席 2. 課題提出

【留意事項】

受講者の構成によっては、内容を一部変更する場合がある。

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

経営情報系棟502

【授業目的及び達成目標】

ディベートによる情報収集・分析・討論を通じて日本の政治・社会・経済・文化に関する話題や日本と外国に関わる様々な問題に関して理解を深める。
同時にディベートによって、客観的分析力・論理的思考力、相手の意見を聞く能力と日本語による討論能力の養成をはかる。

【授業キーワード】

ディベート、討論能力、分析能力、情報収集、文章作成

【授業内容及び授業方法】

1. ディベートとは
2. 論題の設定
3. チーム編成
4. 資料収集
5. 分析・議論の組立
6. ディベートによる試合
7. 試合の判定
8. レポートの作成

【授業項目】

ディベートの目的、ディスカッションとの相違点、ディベートの構成、立論・尋問・反駁の方法、論題の設定方法、試合方法、審査方法

【教科書】

なし

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席点
2. 参加点
3. レポートの提出点

【留意事項】

上級の言語運用能力を有する者が望ましい。

【担当教員】

加納 満

【教員室または連絡先】

経営情報系棟502

【授業目的及び達成目標】

1学期に引き続き、ディベートを行い、より実践的、総合的な言語能力の養成を図る。

【授業キーワード】

ディベート、討論能力、分析能力、情報収集、文章作成

【授業内容及び授業方法】

1. 論題の設定
2. チーム編成
3. 資料収集
4. 分析・議論の組立
5. ディベートによる試合
6. 試合の判定
7. レポートの作成

【授業項目】

ディベートの構成、立論・尋問・反駁の方法、論題の設定方法

【教科書】

なし

【成績の評価方法と評価項目】

1. 出席点
2. 参加点
3. レポートの提出点

【留意事項】

上級の言語運用能力を有する者が望ましい。